

2025年度事業計画

自2025年4月 1日
至2026年3月31日

I 事業活動方針

当財団が管理・運営する石橋文化センターは株式会社ブリヂストン創業者であり、久留米市名誉市民である石橋正二郎氏が「世の人々の楽しみと幸福の為に」と地域の発展を願い、1956年に建設、久留米市に寄贈した複合文化施設で、2026年4月26日に開園70周年を迎えます。また、中核施設である美術館も、開館から70周年を迎えるとともに、久留米市美術館への移行及び石橋正二郎記念館開館から10周年を迎えます。

石橋文化センターでは、70年に亘り支えていただいた市民の皆様に感謝を伝えるとともに、芸術文化と観光の両面から更なる地域社会への貢献を目指し、様々な記念事業を実施します。

今年度は、コンサートなどの鑑賞事業を例年より本数を増やして開催する他、70年の歩みを写真で振り返るメモリアル展等の記念事業も実施します。

また、バリアフリー整備事業として、憩の森東側の急こう配の園路に新たにスロープを設置する他、白鳥の池周囲の砂利道を舗装し、子ども連れの方や高齢者等が安心して園内を回遊できるようにします。その他、石橋文化ホールの長寿命化に向けた計画も策定します。

美術館では、公益財団法人石橋財団のご支援により、2026年2月から開館10周年記念展「美の新地平ー石橋財団アーティゾン美術館のいま」を開催するとともに、石橋正二郎記念館は、設備及び展示室の一部改修を行います。記念館は、この改修工事のために2025年8月から休館し、2026年2月にリニューアルオープンします。

さらに、2021年度からスタートした当財団の基本計画（2021年度～2025年度）の最終年度であり、次期計画の策定にも取り組みます。

石橋文化センター開園から70年の節目の年に向けて、様々な取り組みを通じて、市民の皆さんに“楽しみと幸福の時間”を感じていただけるよう、魅力ある事業実施と環境整備に取り組んでまいります。

II 重点的な取組み

1 石橋文化センター開園 70 周年記念事業

石橋正二郎名誉市民が久留米市の発展を願い、寄贈された石橋文化センターは、2026 年に開園 70 周年を迎えます。これを記念したイベントを実施するとともに環境整備を行います。

(1) イベント実施

コンサート等の鑑賞事業（2025 年開催はプレ事業）
石橋文化センターを写真で振り返る「メモリアル展」

(2) 環境整備

石橋文化センター園内バリアフリー整備
園内サイン類の更新

2 久留米市美術館開館 10 周年記念事業

2016 年 10 月に石橋美術館の 60 年に亘る歴史を受け継ぎ、久留米市美術館、石橋正二郎記念館として再スタートし、2026 年に 10 周年を迎えます。

10 周年に際し、公益財団法人石橋財団のご支援により以下の特別展を開催するとともに、石橋正二郎記念館を改修します。

(1) 美術館開館 10 周年特別展

「美の新地平ー石橋財団アーティゾン美術館のいま」

(2) 石橋正二郎記念館改修

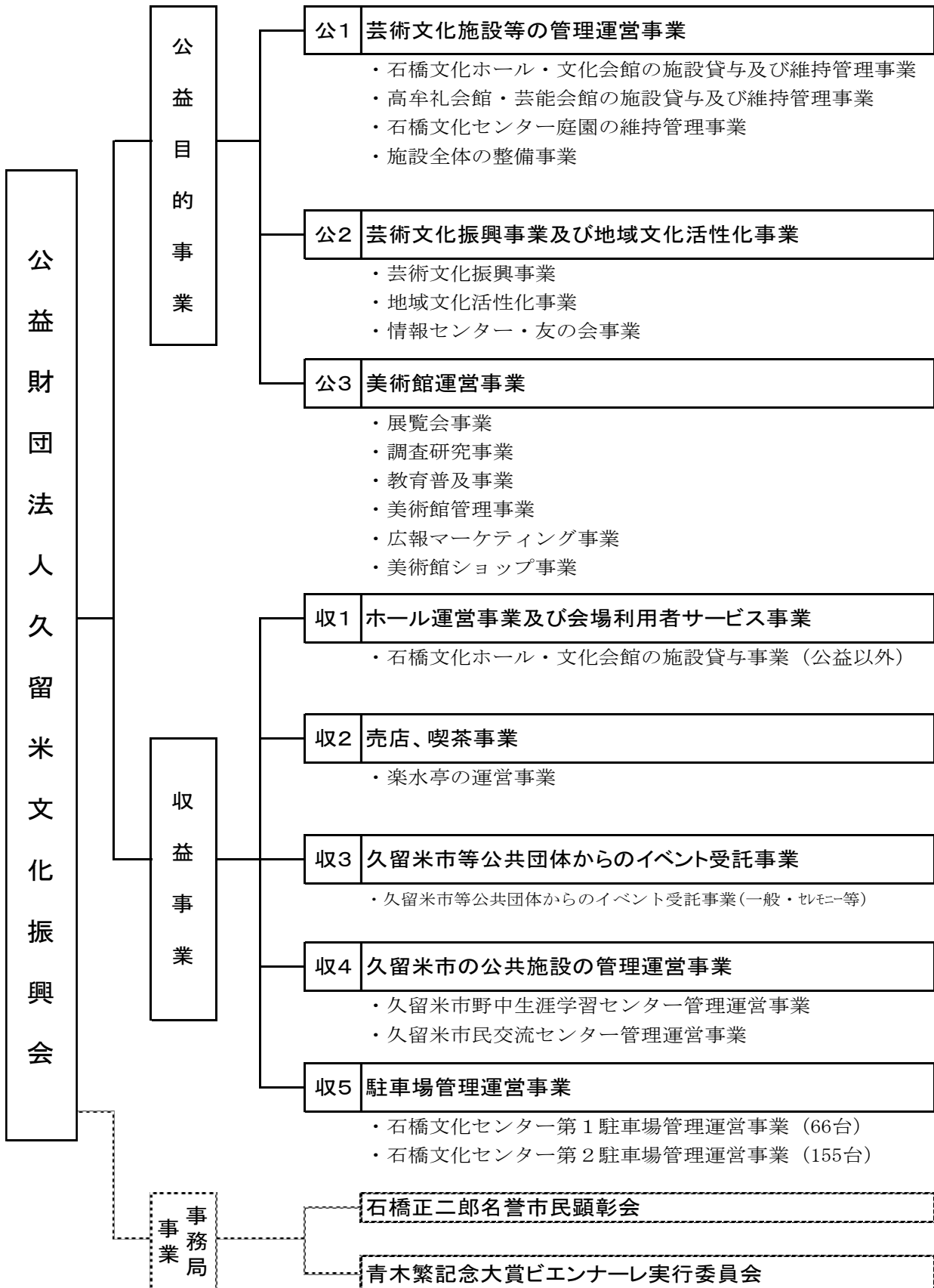
設備及び展示室の一部改修

3 次期基本計画（2026 年度～2030 年度）策定

現基本計画（2021 年度～2025 年度）の最終年度であり、次期基本計画の策定に取り組みます。

Ⅲ 事業内容

【公益財団法人久留米文化振興会事業体系】



【公益目的事業】

1 芸術文化施設の管理運営事業

石橋文化センター諸施設等の貸与事業及び維持管理を行うことにより、芸術文化の振興と地域文化の活性化に取り組みます。

また、石橋文化センター及び各施設の老朽化対策と魅力向上のための整備により、安全、安心、快適にご利用いただける文化施設を目指します。

(1) 施設の貸与事業

利用しやすい施設となるよう利用者サービスの一層の充実を図り、施設の利用を促進するよう努めます。また、日々の点検整備に加え、中長期的な整備計画も見据え、長く親しまれる施設運営を目指します。

①石橋文化ホール・文化会館

市の中心部で良好なアクセス環境を備え、さらに大型車両も受入れ可能な駐車場を有するという利点を最大限に生かし、施設利用促進に取り組みます。

また、久留米市公共施設予約システムへの施設登録を速やかに進め、利用者の利便性を高め、利用促進も図ります。

②高牟礼会館・芸能会館

高牟礼会館及び昨年度から久留米市の要請を受け、貸与事業を開始した芸能会館の施設の修繕や樹木管理などに努め、施設の老朽化対策に取り組みます。

(2) 施設の維持管理

①庭 園

石橋文化センター開園 70 周年事業として、憩の森東側の急こう配の園路に新たにスロープを設置するとともに、白鳥の池周囲の砂利道を舗装する「園内バリアフリー整備」を実施します。これにより、子ども連れの方や高齢者等が安心して園内を回遊できるようにします。この整備の一環で、アジサイの品種や彩を増やし、初夏の魅力を向上させるよう計画しています。

また、傷んだ園内サイン類を更新します。

②施設整備事業

各施設の利用、安全面を維持向上するための整備を行います。

- ・石橋文化ホール長寿命化計画策定
- ・石橋文化ホール音響電源改修

2 芸術文化振興事業及び地域文化活性化事業

庭園、美術館、ホールを連携させたミュージアム化事業を中心に様々な文化事業を展開し、楽しみと幸福の時間を提供します。

今年度から、石橋文化センター開園 70 周年記念事業として、ホールで開催する鑑賞事業等を本数を増やして実施します。

また、音楽祭や学校で行うアウトリーチ等、文化の裾野を広げる事業にも取り組みます。

(1) 芸術文化振興事業

A 国内外の優れた芸術・舞台公演の鑑賞機会を提供する事業

- ・弦楽アンサンブル『石田組』コンサート[共催]

70 周年プレ事業

- ・落語三人会（桂宮地、春風亭一之輔、三遊亭わん丈）
- ・ドラゴンクエストコンサート（九州交響楽団）
- ・ブレーメンの音楽隊（こどもオペラ）
- ・THE FOREVER YOUNG 対バンライブ
- ・須川展也サクソフォンリサイタル（三井住友海上文化財団助成事業）

70 周年記念事業

- ・NAOTO&DEPAPEPE スペシャル LIVE
- ・横山幸雄&務川慧悟ピアノデュオリサイタル

B 市民参加の文化振興事業

- ・第 36 回くるめ新人演奏会（新人音楽家によるコンサート）
- ・第 37 回くるめ音楽祭（吹奏楽祭・合唱祭・アンサンブルフェスティバル）
- ・第 54 回ニューイヤール・バンド・フェスティバル（吹奏楽合同バンド）

C 石橋文化センターミュージアム化事業

- ・ミュージアムコンサート
- ・ハロウィン、クリスマス等の季節に合わせたミュージアムイベント
- ・ガーデンテラスコンサート

70 周年記念事業

- ・石橋文化センターメモリアル展

D 次代を担う世代とともに行う振興事業～未来への種をまく事業～

- ・0 歳からのキッズコンサート
- ・石橋文化センターこどもスケッチ大会
- ・古典芸能、音楽等の体験を行う学校への芸術家等派遣事業（受託事業）
- ・TEENS' MUSIC PROJECT（受託事業）
- ・高等学校軽音楽祭@九州 R7～第 4 回九州コンテスト～（共催事業）

(2) 地域文化活性化事業

A 石橋文化センター園内や美術館を活用した市民参加の事業

バラやつばきなど四季折々の魅力をテーマとしたイベントを中心に開催し、今期からは、「春のチューリップまつり」を単独で開催します。

また、各イベントにおいて、キッズ・ファミリー向け企画等の充実を図るとともに、園内バリアフリー整備完了後は、憩の森などを中心に、より回遊性を活かした事業を展開していきます。

- ・春・秋のバラフェア
 - ・初夏の花まつり&ホテル観賞
 - ・石橋文化センターの「夏祭り」
 - ・もみじまつり
 - ・春の花まつり
- 「梅まつり」「つばきまつり」「さくらまつり」「チューリップまつり」

B 久留米市内の各地域でコンサート等を実施する市民参加の事業（受託）

市民が音楽に触れる機会を提供するため、文化センター以外でもコンサート等を実施し、若手の人材育成、日本伝統音楽の振興を図ります。

- ・くるめライブチャレンジ 2025
- ・邦楽振興事業
- ・六角堂広場ランチタイムコンサート
- ・KURUME MUSIC FES.2026（仮称）

(3) 情報センター・友の会事業

A 情報誌の発行・ホームページの運営

情報誌「みどりのリズム」を隔月発行します。

石橋文化センターホームページ運営に加え、公式 LINE やInstagramなど SNS を活用した情報発信に努めます。

また、開園 70 周年特設サイト及び PR 動画を制作し、70 年の歩みや記念事業を PR します。

B 友の会事業

美術館主催展覧会の年間フリーパスを主な特典とし、会員の増加を図ります。

C 情報センター事業

石橋文化会館 1 階に加え、久留米シティプラザ内の「石橋文化センター情報サテライト」において、石橋文化センター、久留米市美術館の情報を発信します。

3 美術館運営事業

石橋文化センターの中核施設である美術館は、2026年に前身の石橋美術館開館から70周年を迎えるとともに、久留米市美術館への移行及び石橋正二郎記念館開館から10周年を迎えます。

今年度も美術館の基本方針に基づき、市民に親しまれる美術館を目指し、指定管理者として管理運営を行います。

(1) 展覧会事業

今年度は、前年度より継続中の展覧会から開館10周年記念展まで、古今の名画やデザインの名作を展覧する5本の展覧会を開催します。

① 響きあう絵画 宮城県美術館コレクション

2月8日(土)～5月11日(日)

② 異端の奇才 ビアズリー展

5月24日(土)～8月31日(日)

※公益財団法人石橋財団特別助成

③ 橋口五葉のデザイン世界

9月13日(土)～10月26日(日)

④ ちくごist 深よみ 古賀春江

11月8日(土)～2026年1月18日(日)

⑤ 久留米市美術館 開館10周年記念展

美の新天地平一石橋財団アーティゾン美術館のいま

2026年2月14日(土)～2026年5月24日(日)

※公益財団法人石橋財団特別助成

(2) 石橋正二郎記念館の運営

2016年の開館以来、石橋正二郎氏の歩みやひととなり、様々な資料と石橋財団コレクション絵画展示により紹介しています。

2025年8月からは、石橋正二郎記念館開館10周年に向け、公益財団法人石橋財団の全面支援により、設備及び展示室の一部改修を行い、2026年2月14日にリニューアルオープンします。

①第29期 正二郎の生きた時代ー1928 久留米大学開学

2月8日(土)～5月11日(日)

②第30期 正二郎と久留米

5月24日(土)～7月31日(木)

(3) 調査研究事業

- ・作品収集、保存・修復のための調査研究
- ・作家・作品及び展覧会企画のための調査研究
- ・デジタルアーカイブシステム(K-Dash)によるデジタル資料の蓄積

(4) 教育普及事業

- ・美術講座や体験講座の開催
- ・小中学生の団体鑑賞受入れなど学校との連携
- ・博物館実習の受入れ
- ・展覧会鑑賞や石橋正二郎記念館見学の補助教材の制作
- ・坂本繁二郎旧アトリエでのアトリエトーク
- ・美術館ボランティア事業

(5) 美術館管理事業

- ・作品鑑賞にふさわしい空間のための建物、空調設備などの維持管理
- ・ギャラリー貸与事業

(6) 広報マーケティング事業

- ・美術館及び美術館活動に関する情報収集及び情報発信（SNS 等含む）

(7) 美術館ショップ事業

- ・所蔵品や展覧会の図録、関連書籍、こども向け画材などの販売
- ・絵はがきや作品を配したオリジナル商品の販売

4 協賛・寄附制度

協賛制度は、久留米市美術館開館を契機とする「石橋文化センターをひとつのミュージアムと捉えた活動」などの久留米市美術館と石橋文化センター事業の支援と入園・入館者数の拡大を目的とした制度であり、今年度もより多くの企業、団体、個人の皆様に加入していただけるようPRに努めます。

また、花木の充実など園内の魅力向上に資するための寄附も募ります。

【収益事業】

1 ホール運営事業及び会場利用者サービス事業

利用者の要望を適切に把握し、看板や追加備品、装飾など、外注によるサービス提供についても積極的に提案し、利用者の負担軽減と包括的なサービス提供による利便性向上に努めます。

2 売店・喫茶事業

楽水亭では、外部アドバイザーとともに、店舗全体のコンセプトの見直しを図り、それに基づくカフェメニューの開発・改編や、ギャラリーショップの商品入れ替え、物価高に対応した価格の改定等を行い、店舗全体の魅力向上・運営改善に着手します。

3 久留米市等公共団体からのイベント受託事業（一般事業受託）

久留米市が主催する記念式典や開通式、表彰式など、当財団の事業ノウハウを活用し、公共イベントの円滑な運営に寄与します。

4 久留米市の公共施設の管理運営事業

(1) 久留米市野中生涯学習センター

指定管理者の公募の結果、改めて指定管理者（2025年度から5年間）に選定されました。これまでのノウハウを生かし、さらなる利用者サービスの向上に努めます。

(2) 久留米市民交流センター（久留米市庁舎2階）

2025年度は、2年間の延長期間を含む7年間の指定期間の最終年度を迎えます。よりスムーズな貸出受付を心がけ、より多くの市民に利用いただけるよう努めます。

5 駐車場管理運営事業

石橋文化ホール、美術館、園内イベントによる利用状況を事前に予測し、適切に警備員を配置することにより、安全な駐車場管理に努めます。

また、石橋文化センター及び周辺への観光を目的とした大型バスの駐車場利用についても、可能な限り受け入れ、駐車場の有効活用に取り組みます。

【事務局事業】

以下の事業の事務局機能を担い、関係団体との協力を図りながら、郷土に生まれた先達の功績を顕彰します。

1 石橋正二郎名誉市民顕彰会

実行委員会では、石橋正二郎名誉市民の理念を広く伝える事業を実施します。

- ・墓前祭の実施
- ・久留米市美術館 講演と展覧会鑑賞の開催
- ・ゆかりの地見学会

2 青木繁記念大賞ビエンナーレ実行委員会

2023 年度に終了した青木繁記念大賞ビエンナーレの今後の方針を久留米市とともに調査検討します。